

大地震発生時の【保護者】行動マニュアル

南アルプス市立大明小学校

震度5弱以上の地震が起こった場合は児童の引き渡しを実施します ＜保護者の動き＞

- 震度4以上の地震の場合、市の防災無線により、地震情報が伝えられます。
- 震度5弱以上の地震が起こった場合、学校は児童の引渡しを行います。その場合、学校の一斉メール等はいりません。すみやかに児童を引き取りに来てください。また、市の防災無線により地震情報とともに、児童の引き取りメッセージが伝えられます。
- 各地区で配布された防災マップを使って、第一次避難場所・通学路上の危険箇所（特にブロック塀など倒壊の危険等）などを家族でしっかり確認してください。
- 児童の安否確認・児童の引き渡しは、緊急車両の妨げになりますので徒歩でお願いします。
- 地震発生時には、緊急にかかわる電話が通じないことも予想されますので、学校への電話の問い合わせは御遠慮ください。

時間帯	南海トラフ地震に関連する臨時情報	地震発生時（震度4）	地震発生時（震度5弱以上）
登校中	・保護者の保護のもと、自宅及び安全な場所で児童とともに待機 【登校した児童の引き渡しあり】	・あらかじめ決めてある集合地・避難所で児童の安否を確認し、異常がなければ通常生活を続ける。	状況が安定したら ・あらかじめ決めてある集合地・避難所で児童の安否を確認し、児童を連れ帰る。確認できない場合は学校へ向かう。 【登校した児童の引き渡しあり】 ・可能ならば通学路の状況を学校災害対策本部に伝える。
在校時	【児童の引き渡しあり】 ・保護者の保護のもと、自宅および安全な場所で児童とともに待機	・児童の安否に関する学校からの情報を得ながら状況を見る。	【児童の引き渡しあり】 ・通学路の状況を学校安全対策本部に伝える。 ・安全に注意しながら下校し、自宅の安全確認を行う。
下校中	・保護者の保護のもと、自宅および安全な場所で児童とともに待機 【学校に残っている児童の引き渡しあり】	・あらかじめ決めてある集合地・避難所で児童の安否を確認し、異常がなければ通常生活を続ける。	状況が安定したら ・あらかじめ決めてある集合地・避難所で児童の安否を確認し、児童を連れ帰る。確認できない場合は学校へ向かう。 【学校に残っている児童の引き渡しあり】 ・可能ならば通学路の状況を学校災害対策本部に伝える。

*（南海トラフ地震に関連する臨時情報）は、市の防災無線やラジオ・テレビ等の公式報道によって発信されます。

* 学校の再開について

臨時休業や児童の引き取りの措置を取った後の学校再開（登校）については、教育委員会との協議後、学校施設等の安全や登下校の安全が確保できてからになります。その際は、学校の玄関等に掲示するとともに、市の防災無線、緊急メール等で連絡します。